

あ と が き

編集顧問

糸満盛憲
越智隆弘
小野啓郎
黒坂昌弘
清水克時
高岸憲二
竹光義治
富田勝郎
戸山芳昭
内藤正俊
守屋秀繁
山室隆夫
矢部 裕

編集主幹

吉川秀樹
編集委員
金谷文則
菊地臣一
土屋弘行
松本守雄
松山幸弘

この原稿を書いている5月28日は、オバマ大統領の広島原爆ドーム訪問が実現し、戦後の大きな節目になりました。同日の羽田空港での大韓航空の火災により、沖縄で予定の2講演が演者不在のため中止になりました。台風以外で講演会が中止になるのは初めてで、大事故にならなかったのは幸いです。

本号の誌上シンポジウム「脊椎腫瘍 最近の話題」は土屋弘行先生の素晴らしい企画です。原発性および転移性骨腫瘍による骨関連事象は患者のQOLを大きく低下させます。近年の破骨細胞を阻害するビスホスホネート剤をはじめとする骨修飾薬や抗RANKLモノクローナル抗体(デノスマブ)の開発により、切除困難な原発骨腫瘍や転移性骨腫瘍に対する治療とその成績が大きく改善しました。原発性骨腫瘍の中でも、切除不能な骨巨細胞腫に対してデノスマブによる腫瘍縮小効果とダウンスレージングによる低侵襲手術の可能性が報告されています。脊索腫に対する重粒子線治療、動脈瘤性骨嚢腫に対するデノスマブの有効性およびscleroplasty, sacroplastyなどの低侵襲手術は有望な手術と考えます。

私たち整形外科に紹介される患者は、病的骨折や転移性腫瘍による麻痺が生じてからがほとんどでしたが、骨転移がんサージの立ち上げにより、病的骨折を起こす前の患者をみる機会が増えています。本シンポジウムでがんサージの結成により脊髄麻痺の緊急手術が減り、手術時Frankel分類が軽い症例が増えているとの報告は、がんサージが骨転移を持つ患者のQOL向上に貢献していることの裏付けです。

脊髄圧迫のない転移性脊椎腫瘍に対する最小侵襲脊椎安定術はQOL向上の有用な治療戦略になっています。放射線療法も重粒子線のほかに術中照射や定位照射も重要な治療手段の1つです。がんのStage IVである転移性脊椎腫瘍の根治療法は従来不可能とされてきましたが、単発転移で放射線治療抵抗性の腎細胞癌や甲状腺癌では根治的手術により良好な成績が得られることが報告されています。今後の骨修飾薬や抗RANKLモノクローナル抗体、分子標的治療や免疫療法の進歩により、原発性および転移性脊椎腫瘍患者の生命予後の改善が期待されます。骨転移がんサージの立ち上げ、最小侵襲脊椎安定術そして根治的手術により、より一層のQOLの改善が期待できます。

そのほか、Lecture「脂肪由来幹細胞」、整形外科知ってるつもり「特発性上腰ヘルニア」、最新基礎科学「二酸化炭素の抗腫瘍効果」、境界領域「難治性疼痛に対する血管内治療」、連載「東アフリカ見聞録」などなど、本号は有用な情報が満載されています。日常の臨床や研究にお役立ていただければ幸いです。

(金谷文則)

臨床整形外科 (第51巻第7号)

2016年7月25日発行(毎月1回25日発行)

定価 本体2,600円+税

2016年 年間購読料(送料弊社負担・本体価格)

冊子版 30,326円

冊子+電子版/個人 35,726円

電子版/個人 30,326円

E-mail rinseige@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinseige>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 編集室直通 (03)3817-5702(担当:石井・前野)

販売部直通 (03)3817-5659

ファクシミリ (03)3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 (株)アイワード 電話 (011)241-9341

広告申込所 (株)医薬広告社 電話 (03)3814-1971

オンライン投稿 ID:rinseige パスワード:rinseige

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku Tokyo © 2016, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
・ 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY®(出版者著作権管理機構委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。

*「臨床整形外科」は株式会社医学書院の登録商標です。